

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日英同盟	ロシアは1900年の義和団事件以降も満洲への駐留を続け、朝鮮半島や中国への進出を強めていました。これに対し、東アジアでの利権を守りたいイギリスと、ロシアの脅威を排除したい日本の利害が一致したため、日露戦争直前の1902年に日英同盟が結ばれました。当時「栄光ある孤立」を掲げていたイギリスが他国と同盟を結ぶのは極めて異例のことでした。
問2	答え 1 薩摩藩出身の黒田清隆が内閣総理大臣を務めていた。	大日本帝国憲法が公布された1889年は、藩閥政治が続く中で薩摩藩出身の黒田清隆が内閣を組織していました。大久保利通はそれ以前の明治政府を主導していましたが憲法完成前に亡くなっており、大隈重信は国会の早期開設を求めて政府を追われた経緯があります。また、初代内閣総理大臣は長州藩出身の伊藤博文であり、陸奥宗光は後に外務大臣として条約改正などで活躍する人物です。
問3	答え 1 天皇主権	憲法において「統治権を総攬する（すべてまとめて握る）」と記されている通り、国の最終的な決定権（主権）は天皇にあるとされました。これは、第二次世界大戦後に制定された日本国憲法が「国民主権」を採用している点と対照的な、近代日本の政治制度の大きな特徴です。
問4	答え 1 国民の意見を反映させるため、選ばれた議員による議会を早期に設立すべきである。	運動側は、政府が一部の藩の出身者だけで意思決定を行うことは不当であるとし、国民が選んだ代表による議会（民撰議院）を通じて政治を行うべきだと主張しました。この主張が地方の地主や知識人にも広まり、政府を無視できない規模になったため、政府は国会の開設を約束せざるを得なくなりました。
問5	答え 1 家柄や身分に関わらず、個人が学ぶことで自立し、社会の発展に貢献することを目指した	明治初期の教育改革は、四民平等の考えに基づき、身分や性別に関係なく国民全体が教育を受けることを目指しました。福沢諭吉の『学問のすゝめ』も、生まれながらの身分差ではなく、学問の有無によって人生が決まるという合理的な考え方を示しており、政府の「学制」による近代化政策と歩調を合わせるものでした。これは、個人の能力を高めることで国家の近代化を推し進めようとする当時の啓蒙思想を反映しています。
問6	答え 1 鉄道の利用者数を増やすため、線路沿いの土地に住宅地や遊園地・宝塚歌劇などの観光施設を開発した。	大阪の私鉄（阪急電鉄の小林一三など）は、単に目的地を結ぶだけでなく、自ら需要を創出するビジネスモデルを確立しました。沿線に住宅地を開発して通勤客を確保し、終点に百貨店や遊園地、劇場などを建設して休日の行楽客を呼び込む「沿線開発」によって、大阪を中心とする都市圏の拡大を支えました。官営工場の立地や外国人居留地は、この文脈における大阪の私鉄開発の主目的ではありません。
問7	答え 1 武力による反乱では政府を倒せないことが明らかになり、言論による政治運動へと主流が移った	最大規模の士族反乱であった西南戦争が政府軍によって鎮圧されたことで、不平士族や豪農たちは、武器ではなく「言葉」や「組織」によって国会の開設を求める道を選び、運動は全国的な広がりを見せました。
問8	答え 1 富岡製糸場	明治政府は、外貨を獲得するために生糸の輸出を重視していました。そこで、西洋の技術を導入して品質を安定させるため、日本初の本格的な器械製糸工場を建設しました。これは当時の政府が掲げた、産業を育成する「殖産興業」の代表的な取り組みです。
問9	答え 1 自由党	自由民権運動が盛り上がる中、1880年に結成された国会期成同盟をもとに、翌年の1881年に結成されました。フランス流の自由主義を掲げ、主権在民に近い急進的な主張を特徴としました。同時期に大隈重信が結成した立憲改進黨と並び、初期の政党政治を支える存在となりました。
問10	答え 1 明治政府が欧米の近代国家に倣い、憲法に基づいた政治を行うために設置した日本最初の国会	帝国議会は、自由民権運動の高まりや、国際的な地位向上を目的として、1890年に初めて開設されました。これはアジアで最初の本格的な議会制度であり、憲法に従って政治を行う「立憲政治」の根幹をなすものでした。衆議院と貴族院の二院制で構成されており、国民から選ばれた議員（当時は一定以上の納税者に限る）が国政に関与する道が開かれました。
問11	答え 1 衆議院	明治憲法下の帝国議会は、二院制をとっていました。一方は皇族・華族・天皇が任命した勅任議員から成る「貴族院」で、もう一方は一定の納税額を満たした男子による選挙で選ばれた「衆議院」です。現代の参議院は、戦後の日本国憲法制定に伴って設置されたものであり、戦前の帝国議会には存在しません。
問12	答え 1 ② → ① → ③	自由民権運動は、まず1874年に板垣退助らが「民撰議院設立の建白書」を提出したことから始まります。その後、運動の組織化が進み、1881年に日本初の政党である「自由党」が結成されました。政府はこうした動きに対し、1889年に「大日本帝国憲法」を公布し、翌年には第1回衆議院議員総選挙を実施して、立憲制の形を整えました。
問13	答え 1 中江兆民	中江兆民は、フランスの思想家ルソーが唱えた「社会契約論」を訳し、主権在民の考えを日本に紹介しました。この思想は自由民権運動の理論的な支柱となり、国民が自らの手で政治を変えようとする意識を育む大きな要因となりました。